

さんの命や暮らしを守る防潮堤の整備に向け、学識経験者や地区的代表者、国および県の職員などで構成する「牧之原市命を守る防潮堤検討会」を設置しました。

検討会では、地域の皆さん 의견も取り入れていこうと、沿岸部の5地区（相良・片浜・地頭方・川崎・細江）とに「命を守る防潮堤について考える会」を立ち上げました。各地区的皆さんの意見や専門家からの意見を踏まえ、検討会では、レベル1防潮堤整備とレベル2防潮堤整備について話し合いました。

レベル1対策を進める

レベル1防潮堤整備の考え方は、100年から150年に一度発生する津波に対して津波が防潮堤を越えない整備となります。

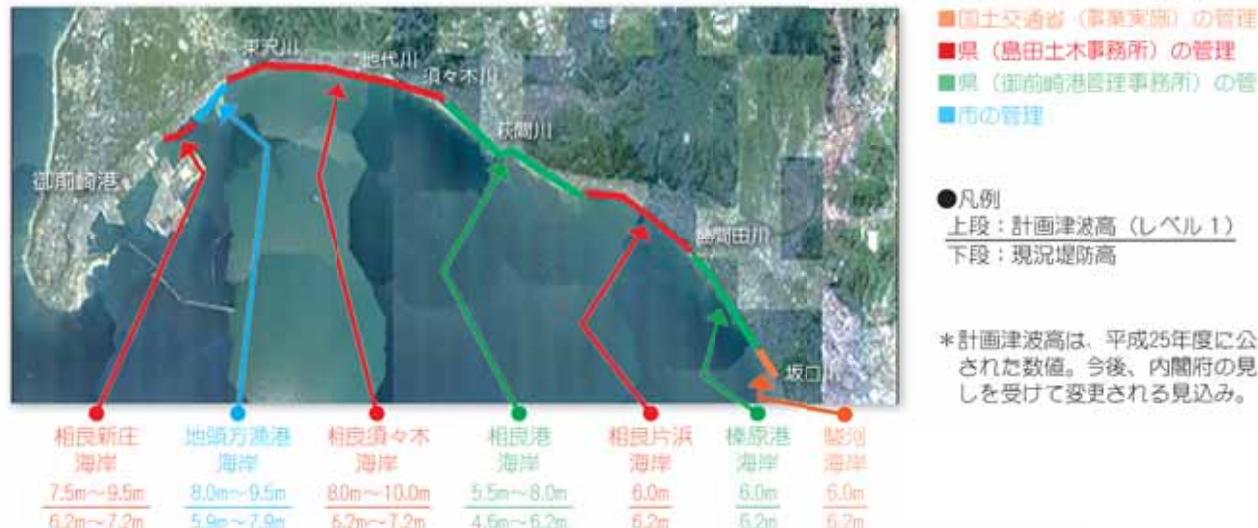
牧之原市細江から焼津市までの駿河海岸（12キロメートル）での最大津波に対する被害の軽減を図るため、駿河海岸整備検討会を設け、今年の夏頃を目途に整備方針をまとめています。

県は、「静岡県地震・津波アクションプログラム2013」に基づき、相良須々

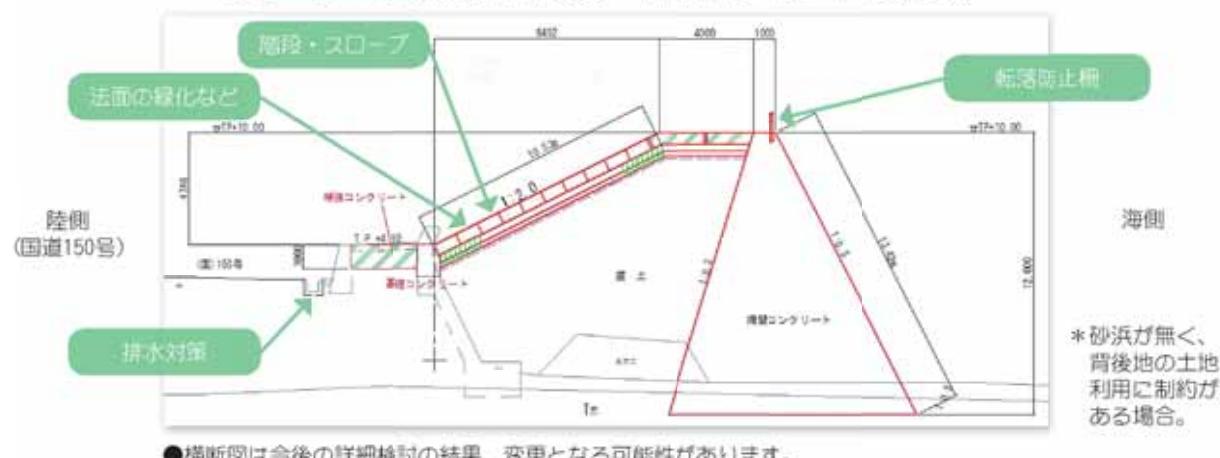
レベル2対策は

レベル2防潮堤整備は、千葉県、市それぞれの海岸管理者は、地域の皆さんと話し合いながら、平成34年度完成を目指してレベル1防潮堤設計に着手します。市が管理する地頭方漁港は、県と歩調を合わせた防潮堤の整備に取り組みます。

①現況堤防高と計画津波高（レベル1）



②レベル1津波対策（相良須々木海岸のイメージ横断図）



ブロック世帯別避難行動シート



管理協定書を受け取る
杉本細江区長



1 ブロック（細江区東慶林公園）津波避難タワー
収容人数（405人） 施設面積（244m²）
高さ（9.50m） 構造（PCコンクリート造）

前進！ 津波防災 まちづくり

市では、沿岸部5地区の皆さんと一緒に作成した津波防災まちづくり計画を基に、さまざまな施設や設備の整備に取り組んでいます。また、昨年度からは命を守る防潮堤の整備についても検討が進められています。

問い合わせ 防災課 植田 ☎0056

第1号の津波避難タワーが完成

平成26年3月29日、市で第1号の津波避難タワーが、細江区にある東慶林公園に完成了。同日には、津波避難訓練を兼ねた完工式が行われ、約100人の地域の皆さんが参加しました。訓練では、避難タワーにすぐ避難できるよう、「ブロック世帯別避難行動シート」を事前に配布し、避難経路などを訓練で再確認した上で行われました。今後も、津波避難施設などの整備を着実に進めていきます。

防潮堤整備の検討

市では昨年度、津波から皆の6カ所が完成予定です。今後も、津波避難施設などを整備します。平成26年度は津波避難タワーの他に、ソーラー照明灯や防災倉庫などの施設や設備を整備しました。4基（川崎地区の旧静波西保育園跡地、市営住宅東海団地跡地、櫛原交番南側、静波海岸西側）、津波避難ビル（相良地区の本通り駐車場）、相良地区金比羅山防災公園などの6カ所が完成されました。

平成26年度に整備した施設や設備など

施設	場所	数
①ソーラー照明灯	小堤山公園4基・波津公園1基・細江多目的公園3基	8基
②バイオトイレ	櫛原公園（龍眼山）	1基
③防災倉庫	各地区的避難地等	9基
④非常用発電機	避難所となる各小学校（萩間小・勝間田小・坂部小）	3カ所
⑤救護所施設	相良総合グラウンド・ぐりんぱる	2カ所
⑥避難地看板	県道・市道沿い	8カ所
⑦水道施設非常用電源	一ノ谷配水池	1カ所
⑧緊急排水ポンプ設備	相良消防本部（保管）	1式

